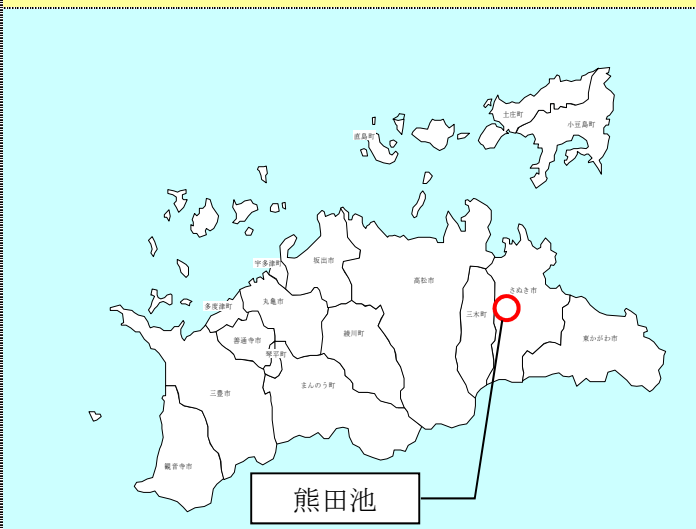


## 熊田池 (くまだいけ)



### 諸元

貯水量	161 千m <sup>3</sup>
満水面積	6.0 ha
受益面積	26.6 ha
堤高	6.0 m
堤長	606.0 m

熊田池は上流にある二股池水系に属し、鍛冶池(三木町)とは親子関係のような水利を保っています。築造時期については不明ですが、貞享3年(1686年)の「翁媪夜話」に熊田池の地名があり、当時既に存在していたことが分かっています。池との関係はないようですが、池の南側に、奈良時代の高僧である行基が讃岐へ来たとき、諸人の病気を治すために造ったといわれている全国でも貴重な古代サウナ「から風呂」があり、現在も利用できます。

築堤以後、幾度の改築があったかどうかは記録が残っていないため不明ですが、当初の堰堤工事が地勢の理にかなった堅牢なものだったので、長い間大きな改修工事はなかったと考えられています。とはいえ、老朽化は避けられず、平成14年度(2002年度)に国営総合農地防災事業香川地区により、堤体、取水施設3箇所、底樋2箇所、洪水吐1箇所の改修工事が実施されました。池の水利は、川上・熊田・中井戸の三地区があり、一日休みの四日割りになっています。取水時間は午前6時から午後6時までで、各地区の“水引き”が取水にあたり、特に必要とする時は三地区の合議によって利用しています。過去には水争いもあったと伝えられていますが、現在は香川用水の恩恵を受けて農地を潤しています。



熊田池



改修記念碑